

事業名	学校給食推進費			調査番号	114
細事業名	学校給食大会費	財務コード	165003		
担当部課室	教育委員会	スポーツ健康課	保健給食	担当 (内線)	8425

事業の概要			
実施期間	始期 S59 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	大会に参加する学校給食関係者及び学校給食関係団体等	参加者の目的意識向上が図られ、学校給食の教育的役割を再確認している	学校給食関係者等の資質向上及び児童生徒の健康の保持増進
内容	学校給食関係者を対象に学校給食大会を開催 ・学校給食優良学校や学校給食功労者等の表彰 ・講演会の実施		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)								
区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
活動指標	大会参加者数	目標	450	450	450	450	450	450
		実績(見込)	450	430	400	250	390	400
		達成率	100.0	95.6	88.9	55.6	86.7	
		達成区分	b	b	b	c	b	
成果指標		目標						
		実績(見込)						
		達成率						
		達成区分						
決算(予算) 単位:千円		27	38	24	37	27	81	81

事業の評価(平成27年度の業績評価)		
活動指標	b	評価 学校給食の実施に関し、優秀な成果を上げた学校等を表彰することにより、関係者の意識向上が図られるとともに、講演会を開催することにより、学校給食の教育的役割を再確認する機会となっている。
成果指標	b	

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)	
関係与の必要性	判定 <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
有効性(成果向上)	判定 <input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明 大会で表彰を行うことにより、学校給食関係者全体の意識向上が図られ、衛生管理の徹底や食育推進など学校給食の充実が図られている。
見直しの余地	判定 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()
その他	説明
見直しの必要性	無 より多くの学校給食関係者が参加できるよう大会を土曜日に開催する等の見直しを実施してきており、現状としては改善の余地はない。

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)	
現行どおり	説明

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。